

## 2015 世界パワーリフティング選手権大会・観戦記

2015 年世界パワーリフティング選手権大会がルクセンブルクにて開催されたので、本当に久しぶりの海外出張になりました。

今回は、IPF の総会もあるため、会議出席と日本選手団の応援ということで参加いたしました。



山口団長以下 17 名のチームで、日本の最強パワーリフターが世界に挑むために意気軒昂にそれぞれの目標達成に向けて出発。

小職と山口団長はルクセンブルクの特命全権大使に表敬訪問させて頂くために、大使のご都合に合わせて 11 月 7 日一足先にパリ経由でルクセンブルクに到着。早速、運営側が用意した滞在ホテルに。ところが施設は立派だが市内からは随分と遠ざかった閑散としたゴルフ場に併設されたところに追いやられた感が否めない。

その日の夕方に衣服も改め、西村篤子大使閣下及び清家書記官に、大使公邸にて表敬ご挨拶をさせて頂きパワーリフティングの概況説明を致しました。大使も昨日は、日本の岸田外務大臣がお越しになられたとかで相当の過密スケジュールのご様子でしたが、快く歓待して頂き感激でした。業務が相当にご多忙の様子で残念ながら試合観戦はできないけれど是非とも頑張ってくださいとのエールを賜りました。

その後、ルクセンブルク空港で日本選手団を出迎えて、元気な選手諸君に接して一安堵でした。空港近くのガソリンスタンド併設のストアで各自水・食料等必要備品の買い物をして宿泊ホテルに到着いよいよ明日からの大会に備えて緊張感が漂いました。

大会初日には、女子 47kg 級の福島友佳子選手の出場。期待にたがわず完全優勝金メダル、表彰式で日の丸・国歌を斉唱した時には、感慨一入で本当に感激致しました。

それから、順次大会が進行していき、北村まゆみさんはじめ一人の失格者もなくシングルではメダルを獲得された方々もおられて、選手の皆さんはそれぞれに精一杯の実績を残されたことと確信致しました。

今回、山口団長には、IPF の幹部各位との、顔つなぎも適切にしてもらい、会議及び大会に参加したことを大変有意義であったし、2018 年の世界ベンチの日本開催が議決されたことに伴い、大変光栄であると同時に開催に向けての詳細検討を早速関係各位のご協力を頂き執り進めることとなります。

今回参加された皆様に深甚の感謝を申し上げ、今後益々の活躍と JPA の関係各位にご指導ご鞭撻ご支援をこの場をお借りしてお願い申し上げます。 宮本 英尚